

# サキドリ研究校等における柔軟な教育課程編成・実施を支援するための取組

「調整授業時数制度」導入後の円滑な制度実施に向けて、「サキドリ研究校」や先行的に教育課程の柔軟化に取り組む研究開発学校、教育委員会の取組を支援するため、国として情報交換会やフォーラムの開催などを通じて全国の学校や教育委員会での知見の蓄積及び横展開に取り組む。

## 情報交換会

サキドリ研究校や、先行的に教育課程の柔軟化に取り組む研究開発学校、その指導・助言や伴走を担う都道府県・市区町村教育委員会を対象に、令和8年5月20日（水）に「サキドリ情報交換会（第1回）」を実施し、約550名程度が参加。

それぞれの立場から現状の取組や進め方の工夫、今後の展望、課題を共有するなど、**活発な情報交換**を実施。

### 【今日のねらい】

- ①「サキ友」（サキドリ研究校の友達）をつくる！
- ②サキドリ研究校の向かう先（調整授業時数制度）や背景（中教審での検討状況など）を押さえておく！

### 【当日の意見の一部】

- 授業時間の5分縮減をきっかけに単元で子供の学びをデザインする意識が高まり、授業改善に繋がった
- 「調整授業時数制度」をどう使うか考え始めたことで、先生同士で教育課程について今一度考える機会ができた



当日の文部科学省説明資料（抜粋）



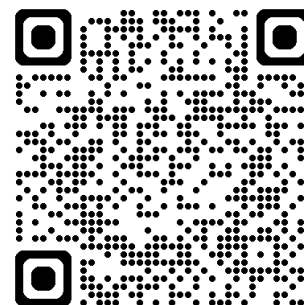
当日の様子

## サポートマガジン『サキドリ』

（文部科学省 授業づくりnote）

文部科学省教育課程課が運営する公式noteにて、情報交換会と同日の令和8年5月20日（水）に「調整授業時数制度」の運用に向けたサポートマガジン『サキドリ』を開始。

今後、「調整授業時数制度」の運用に向けた全国各地の柔軟な教育課程編成の事例や、教育委員会による伴走の事例等を紹介していく予定。



上記リンクよりフォローすれば最新記事をすぐに確認できます

<https://mext-curriculum-gov.note.jp/m/mf1416ca0365d>